

長野県産業教育審議会への諮問について

高校教育課

(諮問事項)

社会情勢や産業構造が大きく変化する時代における望ましい産業教育のあり方について

(背景)

グローバル化、高度情報化、少子高齢化等の社会情勢が大きく変化する中、産業界においても、新しい産業分野の創出や6次産業化等の既存の枠組みを越えた産業構造の変化が起きています。

本県の高等学校においても、このような状況における教育のあり方や産業教育を主として行う専門学科のあり方について、様々な教育施策を考えていく必要があります。

そこで、産業教育審議会に、調査審議を依頼し、大きな視点から本県高等学校産業教育の将来像に関して幅広い意見を伺います。

(具体的な審議内容の例)

- これからの時代における高等学校の産業教育全般のあり方
- 企業や大学等、将来の進路を踏まえた専門学科のあり方
(進学者への指導、専攻科の必要性、高大連携、企業連携等)
- 産業教育を担う専門学科以外の生徒に対する産業教育のあり方
- 少子化や生徒の多様化に伴う専門高校のあり方や定時制専門学科のあり方

など